

すでに遅し！ コロナ注射を受けた1/4が免疫システムを壊されていた

ケンブリッジ科学者チームが認める

<https://www.infowars.com/posts/too-late-cambridge-scientists-admit-1-4-of-covid-jab-recipients-had-immune-systems-destroyed/>

Kelen McBreen

December 7, 3023

⇒騙されていた科学者たちが、危険な免疫反応を起こすコロナ注射の「欠陥」を認める。
⇒地球上の数百万の人々がこれを受ける前に、この注射は完全にテスト済みだということになっていた——なほどそれが理由だったか。

ケンブリッジのある研究が、実験的 mRNA コロナ注射を受けた人々の4分の1以上が、「ある〈機械的不調〉 glitch のために、意図しなかった免疫反応」が起こって苦しんでいることを明らかにした。 <https://archive.is/9OWsy#selection-2367.0-2367.163>

ケンブリッジ科学者チームや主流メディア報道は、この免疫システムの故障を、「機械的不調」とか、意図しなかった反応だと言っているが、Infowars のような報道者は、この注射はそれが最初に導入されたときから、ずっと有害だったのだらうと警告している。

<https://www.infowars.com/posts/bombshell-interview-with-del-bigtree-covid-vaccine-could-make-the-virus-far-more-deadly/>

一方、ある X ユーザーが指摘しているように、雑誌「サイエンス」はこのニュースを捻じ曲げ、意図しない蛋白質が、何であれ害を起こすことはないだらうと主張している。

7月には、「サイエンス」は別の論文を発表し、Covid-19 ワクチンは、small fiber neuropathy や postural orthostatic tachycardia シンドローム (POTS) のような、自己免疫障害につながっていることを確認した。 <https://www.science.org/content/article/rare-link-between-coronavirus-vaccines-and-long-covid-illness-starts-gain-acceptance>
https://childrenshealthdefense.org/defender_category/covid/

このケンブリッジ研究は、Covid 注射がしばしば「意味のない、無害の蛋白質」を創り出し、それが身体によって攻撃され、ある免疫システムの突然発生につながる可能性があることを発見した。

もちろん、免疫システムが突然発生することは「無害な」出来事ではなく、その陰に有害反応を隠していると考えられる。<https://www.infowars.com/posts/my-jaw-dropped-blood-tests-before-after-covid-jab-prove-shot-obliterates-immune-system-doctor-claims/>

例えば、政治コメンテーターの Megyn Kelly は、コロナ注射をしたあとで自己免疫問題を発症し、多くの他の人々も、注射の後で AIDS のような症候に苦しんだ。

<https://www.infowars.com/posts/study-vaids-triggered-in-children-following-pfizer-covid-jab/>

コロナ注射の展開全体で、最もムネが悪くなる部分は、ビッグ・ファーマ会社と世界中の政府は、それらは安全でないことを知っていた——にもかかわらず、これを広く大衆に押つけたことである。<https://www.infowars.com/posts/confidential-pfizer-and-government-documents-confirm-ade-vaed-and-aids-due-to-covid-19-vaccination-leading-to-millions-dying-suddenly-still-counting/>

恐ろしいのは、時とともにますます多くの研究が、このコロナ注射の恐ろしさを暴いていくことである。しかし残念なことに、地球全体の何百万という人々にとって、時すでに遅かった。彼らはすでに死んだか、あるいは、この実験的 mRNA テクノロジーによって、永久にダメージを受けている。

コロナ注射の専門的分析については、下の Infowars の Judy Mikovits 博士の独占インタビューを見よ：

新しいワクチン命令：ブラジルが赤ん坊ワクチンを強制、
地球的ジェノサイドは続く

<https://www.infowars.com/posts/new-vaccine-mandates-brazil-is-force-vaccinating-babies-global-genocide-continues/>

⇒左派大統領 Lula da Silva が文字通り、民衆に対し、毒物を注射しなければ飢え死にするといい、更に経済を破壊している。

ブラジルが子供に対してワクチン接種を命令した。社会主義者で犯罪者のルーラ・ダ・シルヴァ大統領は、人々が子どもたちに注射することを命じ、嫌なら福祉事業は打ち切ると言った――と、Josh Sigurdson は報道している。

6 か月という幼い子供たちが命令される一方、人々は彼の政府に抗議すると、直ちに逮捕されて、投獄されワクチンを強制されるので、ブラジルの無数の人々はこれを恐れ、ラリーは不能となっている。

この法令のニュースは、ルーラ・ダ・シルヴァが大統領職に就いたときに流れた。多くの者が、コロナ注射にその命令が含まれている証拠はないと主張した。しかし、この詐欺による選挙で新しく誕生した大統領が、前大統領ボルソナーロの言動のすべてを、文字通り反故にしようとしていることは、あまりにも明らかである。

その一方で、ワクチン強制とマスク強制のうわさが、世界のあらゆる所で戻ってきている。それは、新しいフェイクの変種と、いわゆる「白肺シンドローム」から判断して明らかだ。アメリカの一部、カナダ、オーストラリアなど、多くの場所ですでに、マスクが再び命令されている。

コロナ注射による DNA 汚染が、癌、血栓、自動免疫の急上昇を説明するだろう

<https://www.infowars.com/posts/dna-contamination-in-covid-jabs-could-explain-rise-in-cancers-clots-autoimmune-diseases/>

⇒コロナ注射に関係する turbo cancer が、44 の国家で発生している。

武漢コロナ・ウィルス「ワクチン」薬瓶内部の DNA 破片の、最近の発見について、解剖臨床病理学者 Ryan Cole 博士は、[American Thought Leaders](#) に事実を明らかにし、これらの汚染物は、十分にワクチン接種を受けた人々の、癌、マイクロ血栓症、それに自動免疫症の増大に、関係している可能性を語った。

<https://www.theepochtimes.com/health/dna-contamination-in-covid-19-vaccines-may-explain-rise-in-cancers-clots-autoimmune-diseases-5536705>

「私の大きな気懸りは、この地球上の数十億の人々が、その製品の中にあるべきでなかった何ものかに明らかに汚染された製品を、注射されていたという事実である」と、ドクター・コールは説明した。「もし私が食料品店である肉を買い、それに重金属や殺虫剤の毒物が入っていたら、それは直ちに食品棚から撤去されるだろう。」

コール博士は、ファーマー社の COVID 注射小瓶を調べて、新しい研究を行ったが、そこには、既知の発癌物質である Simian Virus 40 (SV40) から派生した、分子が含まれていることがわかった。

これら SV40 分子は、promoter あるいは enhancer として、この小瓶に挿入されたらしく、それは人間の細胞に蛋白質を作らせ、人体内部に免疫反応を起こさせて mRNA 分子の効力を増大させるためであった。

COVID 注射に関係する “turbo cancers” が 44 か国を通じて広がっている
(この翻訳は省略)

[訳者 Greatchain 注]

ここには、重要と思われるコロナ注射の、何重もの意図的悪用について、3点だけ例を取り上げたが、この種の犯罪的悪用の論証が、ますます増えていくのではないかと思われる。ファイザー社の元副社長マイケル・イードンは、早い時期に、これは「人殺し計画」だとはっきり言ったが、それは正しかった。「意図したものではない」とか、それには因果関係がなく「神話」にすぎないとか言って、事実をごまかそうとする試みが横行するが、すべて醜い犯罪的言い逃れである。グローバリストの意図が、歴然と、神と人間への悪意と憎悪であるのは確かであり、今、少なからぬ科学者が時流に乗って、グローバリストの仲間入りをしようとしている。我々は恥ずべきメディアと反科学の時代に生きている。

ここで最も注目すべきは、最初の論文の末尾に引かれているビデオ、Judy Mikovits 博士と Alex Jones の対談である。純粹に科学の話題でありながら、彼らの間で God という言葉がふんだんに使われ、God と Evil が話題の中心であることに注目せよ。その内容に立ち入ることは、私にはできないことを白状するが、それでも、これこそ知的議論として地に足のついた、最も価値の高いものがあると言うことができる。残念ながら、我々の現在の文化は、神や霊的存在を排除することによって、その高さを保証できるかのような、最も本末転倒した、馬鹿げた錯覚に陥っている。